

討論

議案等に対する討論は次のとおりです。

■議案第1号

反対の立場 1件
賛成の立場 1件

議案第1号に対する討論(要旨)は、次のとおりです。

反対討論

令和4年度匝瑳市一般会計予算は骨格予算として、歳入歳出総額144億7、800万円が計上され、宮内市長による政策的経費は補正予算で計上していくとの答弁である。市長は、市民に見える開かれた市政運営、地域資源をフル活用して全国発信する、前例を打破しチャレンジする行政にと、市長自身が現場に向き実情を把握して、市民の声を聞きながら市政運営したいと決意を述べられた。そこで

私は、市長自らが掲げた重点施策に関する課題について質問したが、市長からは各事業に対する積極的な答弁はもらえなかった。

課題1、匝瑳市民病院の施

設建替は、前市長の決断のもとで検討が始められているが、執行権をもつ宮内市長の市民病院構想は不明である。宮内市長は夜間救急に対応する市民病院を公約し、コロナ対策でも市民病院の重要性が明らかとなった。病院建替を早急に求める。

課題2、農家の所得向上が公約の宮内市長に対し、議員から、匝瑳市独自の米価下落対策支援策、農家後継者支援策の質問があったが、事務方の現行制度説明に終わり、市長による踏み込んだ答弁はなかった。

課題3、市議会決議されている学校給食費の無償化は、教育長が給食の食材費は保護者負担で述べたが、市長が決断すればできることであるが答弁はなかった。

国からのコロナ対応地方創生臨時交付金約1億368万円のうち5、372万円は令和4年度に繰り越され、内約4900万円は循環バスの購入費用、観光PR映像作成費に充てられる計画で、緊急コ

ナ対策とは言えない。その分、待たれているコロナ対策支援が行われないことを危惧する。

政府が看護、介護、障害福祉、保育、放課後児童支援等従事者の処遇改善目的で、月額4000円から9、000円、収入の1%から3%程度の賃上げ実施を決め、財政補助を行うという。匝瑳市民病院は、処遇改善加算に取り組むと答弁があったが、匝瑳市としての実施は見送った。市立保育所で臨時雇用されている保育士の処遇改善は民間保育園の保育士よりも給料が高いので行わないとの答弁、放課後児童クラブ・教室の児童支援員に対する処遇改善は検討されていないとの答弁だった。市が指定管理委託している障害者就労支援施設職員に対する処遇改善は、全く考慮されていないのではないか。政府の処遇改善策を匝瑳市はなぜ無視するのか、疑問である。

以上の理由から、議案第1号に反対する。

賛成討論

宮内市長就任後、最初の予算として上程された令和4年度の匝瑳市一般会計予算は、144億7、800万円と、

前年度比で5億200万円、3・4%の減となった。

これは、本年2月に市長選挙を控えていたことから、経常的経費を中心とした骨格予算として編成されたもので宮内市長の公約等に基づく政策的経費に係る予算は、早ければ、次の6月補正予算でその一端が示されるものと考えており、私としても大いに期待をしている。

改めて、本当初予算に計上された各事業では、市内の交通ネットワークの形成に必要な道路新設改良事業をはじめ、高齢者の日常生活を支援する地域交通利用料助成事業、市民の健康を守る予防接種事業、地域経済対策を担う飼料用米等生産拡大支援事業や商工業活性化支援事業等、骨格予算とはいえ、地域づくりや市民生活に必要な不可欠な予算はきちんと盛り込まれている。

その中で、令和4年度からの新たな取り組みとして、産業用地整備推進事業が予算計上された。

執行部からの説明では、令和5年度に開通が予定されている銚子連絡道路の市内インターチェンジ付近に、産業用地整備に適した土地の抽出調

査を行うためのものであり、その調査結果をもとに、今後、企業の誘致等による産業振興のための施設整備が進められるとのことである。

本市のまちづくりの起爆剤として、地域経済の活性化や新たな雇用の場の確保、さらには移住・定住対策への効果も期待できる事業となるよう、宮内市長には、既成概念にとらわれることなく粉骨碎身の覚悟で頑張っていたいただきたいと思う。

一方、本市の財政は、まだまだ厳しい状況にあります。執行部におかれては、多様化する市民ニーズに的確に対応しながらも、なお一層、持続可能な財政運営の確立に向けて、取り組まれるよう要望しておきたいと思う。

以上のことから私は、議案第1号に賛成するものであり、議員各位の御賛同をお願いし、私の賛成討論とする。

